

## 浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗状況報告書

(平成27年度実績)

### 1 調査方法

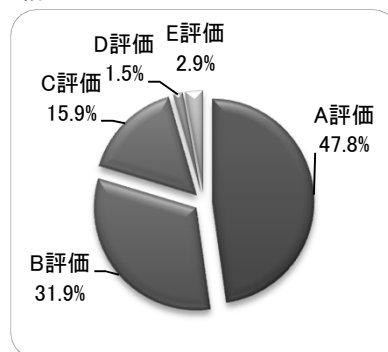
69項目の「代表的な目標」に対する平成27年度末実績から達成率を算出した。

### 2 調査結果

#### (1) 概要

- ① A評価(達成率100%以上) = 33項目 [47.8%] H26:31項目  
 ② B・C評価(達成率50~100%未満) = 33項目 [47.8%] H26:34項目  
 ③ D・E評価(達成率50%未満) = 3項目 [4.4%] H26:4項目

構成比



#### (2) 「代表的な目標」の達成状況

まちづくりの大綱	施策大綱	項目数	達成状況				
			A評価 [100%以上]	B評価 [75%以上]	C評価 [50%以上]	D評価 [25%以上]	E評価 [25%未満]
I 健康・福祉部門	5	16	12	3	1	0	0
II 教育・文化部門	4	9	(4→) 6	(2→) 1	(2→) 1	1	0
III 環境部門	4	9	2	6	0	0	1
IV 産業・経済部門	6	14	(6→) 5	(5→) 6	3	0	0
V 建設・安全部門	6	12	3	3	5	0	1
VI 市民活動・定住部門	6	9	(4→) 5	(2→) 3	(2→) 1	(1→) 0	0
合計	31	69 [100.0%]	(31→) 33 [47.8%]	(21→) 22 [31.9%]	(13→) 11 [15.9%]	(2→) 1 [1.5%]	2 [2.9%]
			(34→) 33 [47.8%]			(4→) 3 [4.4%]	

※項目数が平成26年度実績から増減している場合、左上に平成26年度の項目数を括弧及び矢印で表示

- 【凡例】 達成評価
- 「A」 達成率100%以上
  - 「B」 達成率75%~100%未満
  - 「C」 達成率50%~75%未満
  - 「D」 達成率25%~50%未満
  - 「E」 達成率25%未満

#### 【まちづくりの大綱】

- I 健康でいきいきと暮らせるまち【健康・福祉部門】
- II 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち【教育・文化部門】
- III 自然環境を活かした潤いあるまち【環境部門】
- IV 地域資源を活かした産業を創造するまち【産業・経済部門】
- V 快適で安心して暮らせる、にぎわいあるまち【建設・安全部門】
- VI 市民とともに創り育てるまち【市民活動・定住部門】

**I 健康でいきいきと暮らせるまち【健康・福祉部門】** **16項目**

**1 だれもが安心して受けられる医療体制の整備**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 浜田市国民健康保険診療所の数	5施設	5施設	5施設	100.0%	A	地域医療対策課
② 土曜日診療を実施する浜田市国民健康保険診療所の数	3施設	3施設	3施設	100.0%	A	地域医療対策課
③ 浜田市休日応急診療所の数	1施設	1施設	1施設	100.0%	A	地域医療対策課

**2 生涯を通じて豊かな生活の実現を目指す健康づくりの推進**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 平均寿命（男）	77.11歳	78.35歳	80.18歳	102.3%	A	地域医療対策課
② 平均寿命（女）	85.69歳	86.24歳	86.56歳	100.4%	A	地域医療対策課
③ 脳血管疾患年齢調整死亡率 （人口10万人当たりの年間死者数）	50.7	40.3	41.3	97.6%	B	地域医療対策課
④ がん年齢調整死亡率 （人口10万人当たりの年間死者数）	141.6	136.6	121.9	112.1%	A	地域医療対策課
⑤ 自殺年齢調整死亡率 （人口10万人当たりの年間死者数）	27.0	25.7	19.2	133.9%	A	地域医療対策課
⑥ 心疾患年齢調整死亡率 （人口10万人当たりの年間死者数）	53.6	52.2	44.2	118.1%	A	地域医療対策課

**3 子どもを安心して産み育てる環境づくり**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 通常保育の定員	1,730人	1,775人	1,875人	105.6%	A	子育て支援課
② 延長保育の実施設数	22施設	26施設	25施設	96.2%	B	子育て支援課
③ 放課後児童クラブ等の受入数	572人	710人	790人	111.3%	A	子育て支援課
④ 地域子育て拠点施設数	2施設	3施設	2施設	66.7%	C	子育て支援課

**4 高齢者・障がい者にやさしい環境づくり**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 認知症サポーター数	378人	628人	725人	115.4%	A	健康長寿課
② 就労支援事業所等に通所する障がい者の 平均工賃月額	27,105円	28,000円以上	39,371円	140.6%	A	地域福祉課

**5 市民との協働による地域福祉の推進**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 災害時要援護者登録者の数	3,100人	4,000人	3,077人	76.9%	B	地域福祉課
<p><b>【数値後退の理由・説明】</b>                      平成25年6月の災害対策基本法の改正により、すべての市町村に「避難行動要支援者名簿」の作成が義務づけられた。これにより、従来の「災害時要援護者支援制度」は、平成26年度末で要綱廃止となったため、平成26年度実績値から数値の増減はない。</p>						

※「達成評価」区分→「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満

※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示

※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及び矢印で表示

<b>Ⅱ 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち【教育・文化部門】</b>	<b>9項目</b>
-----------------------------------------	------------

**1 生涯学習の推進と地域活動を担う人材の育成**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 「地域力」醸成プログラム事業実施公民館数	11館	20館	21館	105.0%	<b>A</b>	生涯学習課
② 地域による学校支援活動の参加者数	延べ4,102人	延べ6,000人	延べ6,589人	109.8%	<b>A</b>	生涯学習課

**2 生きる力を育む学校教育の充実**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 小・中学校施設の耐震化率	48.0%	100.0%	100.0%	100.0%	(B→) <b>A</b>	教育総務課

**3 生涯を通じて活動できるスポーツの振興**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 各種スポーツ教室の開催回数	6回	10回	10回	100.0%	<b>A</b>	生涯学習課
② J F A 夢の教室の開催回数	1回	2回	2回	100.0%	(C→) <b>A</b>	生涯学習課
③ 総合型地域スポーツクラブの数	1クラブ	10クラブ	4クラブ	40.0%	<b>D</b>	生涯学習課
<p><b>【達成率が低い理由・説明】</b>                      会員と運営費の確保が課題であり、新たな設立が困難な状況である。設立時には、日本スポーツ振興センターからの助成もあり、制度の周知を図り、機運を盛り上げる必要がある。</p>						

**4 歴史・文化の伝承と地域性豊かな文化の創造**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 文化活動の助成申請件数	5件	7件	7件	100.0%	<b>A</b>	文化振興課
② 石央文化ホールの入館者数	65,069人	75,000人	53,044人 ↓	70.7%	<b>C</b>	文化振興課
<p><b>【数値後退の理由・説明】</b>                      大ホールの利用件数が減少してきているため。</p>						
③ 美術館の入館者数	74,900人	80,000人	67,224人 ↓	84.0%	<b>B</b>	文化振興課
<p><b>【数値後退の理由・説明】</b>                      世界こども美術館では入館者数及び利用者数の増があったものの、石正美術館では入館者数及び利用者数が減となったため。今後も継続して企画内容の充実や積極的な広報を行い、観覧者および利用者の増加を目指していく必要がある。</p>						

※「達成評価」区分→ 「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満

※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示

※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及び矢印で表示

Ⅲ 自然環境を活かした潤いのあるまち【環境部門】

9項目

1 地域特性を活かした景観形成の推進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 緑と花の沿道推進事業実施件数	70件	100件	93件	93.0%	B	建築住宅課

2 環境保全の人づくり・地域づくりの推進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 環境アダプトプログラム登録団体数	20団体	30団体	29団体	96.7%	B	環境課
② こどもエコクラブ登録団体数	2団体	10団体	1団体	10.0%	E	環境課
<p>【数値後退の理由・説明】 子ども（児童・生徒）の減少で活動継続が困難となり退会する団体があり減少した。また、団体登録制度が毎年更新制となっているため、当初から一時的・限定的な活動を目的として入会する団体もあり、登録団体数の純増を期待できない側面がある。</p>						
③ はまだエコライフ推進隊会員数（団体）	97団体	120団体	103団体	85.8%	B	環境課
④ はまだエコライフ推進隊会員数（個人）	25人	40人	41人	102.5%	A	環境課

3 地球温暖化対策への積極的な取組

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 二酸化炭素排出量 （事務事業・オフィス＝市役所の取組）	3,218t	3,025t	2,931t	103.2%	A	環境課
<p>【数値の説明】 「平成27年度実績値」は平成28年7月に確定予定のため、入力値は平成26年度末時点のもの。</p>						
② エコライフチャレンジしまね参加世帯数	682世帯	1,000世帯	819世帯	81.9%	B	環境課

4 循環型社会構築に向けた取組

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① ごみのリサイクル率	20.0%	26.7%	23.33%	87.4%	B	環境課
② 市民一人1日あたりのごみ排出量	982g	882g	1,003g	87.9%	B	環境課
<p>【数値後退の理由・説明】 単身世帯の増加に伴い、特に食品の少量、多品目、手軽でありながら満足度の高い調理済み商品の消費傾向が強まったと考えられる。平成21年頃から、このようなニーズにマッチしたコンビニエンスストアの出店が相次ぎ、少量・個包装商品の消費増大による容器包装資源ごみの増加が、家庭ごみが増加した原因の一つであると分析する。</p>						

※「達成評価」区分→「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満

※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示

※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及び矢印で表示

<b>Ⅳ 地域資源を活かした産業を創造するまち【産業・経済部門】</b>	<b>14項目</b>
--------------------------------------	-------------

### 1 地域の特性を活かした農林水産業の振興

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 新規就農者数	31経営体	40経営体	48経営体	120.0%	<b>A</b>	農林振興課
② 認定農業者数	64経営体	68経営体	56経営体	82.4%	<b>B</b>	農林振興課
<b>【数値後退の理由・説明】</b> 高齢を理由に認定後5年後に更新しない方が増えており、また、受けられるメリットが少ない上に、農作物の価格が下落する中、5年後の農業所得などの認定基準が厳しく、新規の認定農業者は少ない状況にあり、全国的にも減少傾向にある。平成24年度から市独自の認定農業者への支援策を講じ、新規の認定農業者は増えたものの、策定時ほどには回復していない。						
③ エコファーマー数	194経営体	200経営体	145経営体	72.5%	<b>C</b>	農林振興課
<b>【数値後退の理由・説明】</b> 高齢を理由に認定後5年後に更新しない方が増えており、また、認定基準である減農薬などの栽培は手間がかかるが、農作物の価格に十分に反映できていないなど、受けられるメリットが少ないため、全体的にも減少傾向にある。						
④ 「どんちっち」ブランド加盟店舗数	86店舗	95店舗	130店舗	136.8%	<b>A</b>	水産振興課

### 2 活力ある商工業の振興

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 新商品の開発件数	26件	41件	75件	182.9%	<b>A</b>	産業政策課

### 3 矯正施設を核とした地域の振興

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 矯正施設に関する雇用者数	360人	370人	354人	95.7%	<b>B</b>	産業政策課
<b>【数値後退の理由・説明】</b> 退職等による職員の補充ができていないため。						
② 矯正施設への食材の納入率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>A</b>	産業政策課
③ 施設外刑務作業の導入箇所数	2か所	4か所	3か所	75.0%	<b>B</b>	産業政策課

### 4 浜田港・三隅港を活かした産業の振興

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 取扱いコンテナ数	1,179TEU	2,500TEU	2,481TEU	99.2%	(A→) <b>B</b>	産業政策課

### 5 地域資源を活かした観光の振興

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 観光入り込み客数	1,757,419人	2,021,000人	1,825,247人	90.3%	<b>B</b>	観光交流課
② 宿泊客数	111,067人	128,000人	120,311人	94.0%	<b>B</b>	観光交流課
③ 浜田の五地想ものがたり協賛店舗数	19店舗	50店舗	33店舗	66.0%	<b>C</b>	観光交流課
④ 浜田市ツーリズム協議会会員数	27人	50人	29人	58.0%	<b>C</b>	観光交流課

### 6 企業誘致や新産業による雇用の促進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 企業誘致件数	0件	2件	2件	100.0%	<b>A</b>	産業政策課

※「達成評価」区分→「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満  
 ※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示  
 ※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及び矢印で表示

**V 快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち【建設・安全部門】** **12項目**

**1 快適な道路環境の整備**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 市道延長	1,507km	1,512km	1,506km	99.6%	B	維持管理課
【数値後退の理由・説明】 道路台帳システムを平成25年度に導入し、市道延長等のデータを高い精度で測定し直したため。						
② 市道改良率	44.7%	45.6%	49.9%	109.4%	A	維持管理課

**2 利便性の高い公共交通の確保**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 市営バスの乗客数	3.5人	3.7人	2.0人	54.1%	C	まちづくり推進課
【数値後退の理由・説明】 自家用車利用の拡大と人口減少に加え、高齢運転者の増加等が要因となり、市営バスを含めた公共交通利用者は、年々減少している。そのため、曜日運行やスクールバス混乗方式を採用して、利用実態に即した効率的な運行に努めているが、1便当たりの利用者数の改善にはつながりにくい状況となっている。						
② デマンドタクシーの乗客数	2.4人	2.5人	1.6人	64.0%	C	まちづくり推進課
【数値後退の理由・説明】 自家用車利用の拡大と人口減少に加え、高齢運転者の増加等が要因となり、デマンドタクシーを含めた公共交通利用者は、年々減少している。そのため、減便や運行区域の統廃合を行い、利用実態に即した効率的な運行に努めているが、1便当たりの利用者数の改善にはつながりにくい状況となっている。						
③ 交通空白地域の数	10か所	0か所	10か所	0.0%	E	まちづくり推進課
【達成率が低い理由・説明】 交通空白地域は、複数の集落で「1か所」を構成しており、実際には「53集落」あった交通空白地域が「48集落」となった。（「5集落」の解消：達成率9.4%） なお、交通空白地域では、高齢者でも自家用車で移動している方が大半を占める一方で、バス停から500m以内の地域でも、バス停までの移動が困難な高齢者が増えていることから、定義に当てはまるだけの交通空白地域の解消ではなく、移動支援を必要としている方（交通弱者）が安心して生活できる交通支援策の展開が必要な状況になっている。 平成28年度から、交通弱者である高齢者を対象に敬老乗車券交付事業を市内全域で実施予定。						

**3 地域情報化の推進**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 携帯電話不感地区数 （避難所における不感地区数）	5地区	0地区	0地区	100.0%	A	情報政策課

**4 充実した都市基盤の整備**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 地籍調査実施済の面積	292km <sup>2</sup>	359km <sup>2</sup>	314km <sup>2</sup>	87.5%	B	地籍調査課

**5 安全なまちづくりの推進**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 木造住宅耐震診断・改修等の実施件数	12件	126件	386件	306.3%	A	建築住宅課
② 自主防災組織の組織率	20.5%	70.0%	51.4%	73.4%	C	安全安心推進課
③ 防災防犯メール登録者数	2,444人	10,000人	6,929人	69.3%	C	安全安心推進課

**6 上・下水道等生活基盤の整備**

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 簡易水道の取水施設と浄水施設の施設数	49か所	32か所	43か所	74.4%	C	管理課
② 汚水処理普及率	38.9%	47.0%	45.2%	96.2%	B	下水道課

※「達成評価」区分→「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満

※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示

※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及びび矢印で表示

<b>VI 市民とともに創り育てるまち【市民活動・定住部門】</b>	<b>9項目</b>
------------------------------------	------------

### 1 地域コミュニティの形成

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 「地区まちづくり推進委員会」の数	10組織	20組織	28組織	140.0%	<b>A</b>	まちづくり推進課

### 2 定住対策の推進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 空き家バンク成約件数	2件	90件	46件	51.1%	(D→) <b>C</b>	政策企画課
② はまだ暮らし体験事業参加者数	21人	30人	29人	96.7%	(C→) <b>B</b>	政策企画課

### 3 人権を尊重するまちづくりの推進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 人権研修会等の開催回数	15回	26回	39回	150.0%	<b>A</b>	人権同和教育啓発センター

### 4 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 県立大学との共同研究事業実施件数	3件	18件	29件	161.1%	<b>A</b>	まちづくり推進課
② 市民交流促進事業実施件数	10件	70件	87件	124.3%	<b>A</b>	まちづくり推進課

### 5 男女共同参画社会の形成

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 審議会等への女性参画率の達成率	69.4%	100.0%	80.5%	80.5%	(C→) <b>B</b>	人権同和教育啓発センター

### 6 国際交流・地域間交流の推進

代表的な目標	策定時 現状値	目標値	平成27年度 実績値	達成率	達成評価	担当課
① 各種国際交流事業への参加者数	1,739人	1,800人	1,908人	106.0%	(B→) <b>A</b>	観光交流課
② 浜田国際交流協会の会員数	330会員	350会員	268会員	76.6%	<b>B</b>	観光交流課
<p><b>【数値後退の理由・説明】</b>            新規会員の獲得に努めているが、新規加入者より、退会者の数が多いため減少となっている。会員の減少は、会員となることのメリットが少ないこと、また、会が発足して20年が経過し会員の高齢化による退会、経済状況による法人会員の退会によるものである。</p>						

※「達成評価」区分→「A」達成率100%以上、「B」達成率75～100%未満、「C」達成率50～75%未満、「D」達成率25～50%未満、「E」達成率25%未満

※「平成27年度実績値」が策定時現状値より後退しているものは、下段に下降矢印を表示

※「達成評価」が平成26年度から変わっているものは、左上に平成26年度の達成評価を括弧及び矢印で表示